

事業所名：児童発達支援・放課後等デイサービス たけのこ

支援プログラム

作成日 令和7年3月31日

法人（事業所）理念		個々の子どもの特性や状況に応じた支援(療育)を行う事により、成長を促し、地域で安心した生活が出来るようになる事を目標とする。					
支援方針		・ ご家族の意向を聞き、専門的知識を持った者の支援に基づき支援計画を立て、日々、目標をもって取り組んでいる。 また、必要に応じて、保育所等訪問支援を行い、お子さまを中心とした環境設定をする。(集団療育・個別療育) ・ 自然体験等を通して、自己肯定感を持てるように導いていく。					
営業時間		9 時	から	18 時	まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・ 基本的な生活リズムを整える。(情緒の安定を図る) ・ 感情コントロールの取り組み。 ・ 健康には欠かせない、食を育む力を養う。					
	運動・感覚	・ 感覚の偏りや過敏に対して、感覚結合やクールダウン等を取り入れながら、落ち着いて生活出来るように調整を図る。(公認臨床心理士による支援、療育プログラム) ・ 五感を使った感覚遊びや、自然と触れ合いながら体験活動を行う。(自然物を使用した工作や制作) ・ 施設内にある畑で、季節の野菜を育て、収穫する。(自然体験プログラム) ・ 体幹を鍛える。(運動プログラム)					
	認知・行動	・ 日時(時計の見方)や曜日の認識、理解を促す。 ・ スケジュールの理解、見通しをもった行動を促す。 ・ 状況に適した行動や言語の取り組み。					
	言語 コミュニケーション	・ ジェスチャーや絵カードによるコミュニケーションを通して自発的な発語を促す。 また、自分の思いが伝えられるように支援を行う。 ・ 言語聴覚士とのやり取りを通して、相手の気持ちの理解や、相互的なコミュニケーションの獲得を促す。					
	人間関係 社会性	・ 人との関係性を意識し、物の貸し借り、顔の表情、言葉のやり取りを行う。 ・ ルールのある遊びや、協調性のある遊びを通して、相手の思いや気持ちを知ることを促す。 ・ クッキング体験や、お買い物体験を通して、相手とのやり取りや将来の自立へと繋げていく。					
家族支援		・ ご家族と情報を共有し、困り事がある時には、ご家族の話を聞いて寄り添い 必要があれば助言等を行う。 ・ 保護者や兄弟姉妹との関わりを支援する為、面接相談を行う。			移行支援	・ ライフステージの切り替えを見据えた、将来的な移行に向けた準備。 ・ 地域のとの繋がりや、地域住民との交流を図る。	
地域支援・地域連携		・ 学校、病院、保健所、市役所、児童相談所等と情報共有し、連携している。 ・ 地域のイベント等への参加や、他の施設と関わる接点を作る。			職員の質の向上	・ 毎日の振り返りの中で、利用者や家庭環境等の情報を共有し、支援について話し合う場を設けている。 ・ 公認臨床心理士による、個の特性を踏まえた、障害への理解を深める研修を行っている。	
主な行事等		・ 毎月、誕生会を開催したり、季節ごとの行事や、畑で季節の野菜を育てて収穫し、家に持ち帰り、喜びを共有している。 ・ 長期の休みには、畑で収穫した季節の野菜を使ってクッキング体験をする。 ・ 近隣の就労支援施設でお買い物体験を行っている。					